

岡崎市合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成27年02月

1. 対象事業	岡崎市合流式下水道緊急改善事業
2. 実施主体名称	愛知県岡崎市
3. 計画期間	平成21年度～平成25年度
4. 対象事業の進捗状況	<p>下記の内容について、当初計画のとおり完了(平成26年3月31日)した。</p> <p>①汚濁負荷量の削減・・・「排出する汚濁負荷量を分流式下水道と同程度以下とする」</p> <p>1)流域下水道への3Q全量受入れをしたため、高度処理が可能となった。</p> <p>②公衆衛生上の安全確保・・・「全ての雨水吐口で未処理下水の放流回数を少なくとも半減させる」</p> <p>1)岡崎北部処理分区は、早川増強遮集管を築造し貯留能力の確保した。</p> <p>2)岡崎南部処理分区は、占部増強遮集管を改造し貯留能力を確保した。</p> <p>③きょう雑物の削減・・・「全ての雨水吐口できょう雑物の流出を極力防止する」</p> <p>1)59箇所の雨水吐室に、きょう雑物対策(スクリーン設置、吐口廃止等)を実施した。</p>
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<p>(1)改善目標</p> <p>①汚濁負荷量の削減・・・年間放流汚濁負荷量を分流式並とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡崎北部+明大寺処理分区BOD：82t/年(対策前)→78t/年(分流並) ・岡崎南部処理分区 BOD：35t/年(対策前)→35t/年(分流並) <p>②公衆衛生上の安全確保・・・雨水吐き室の未処理下水の越流回数を半減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡崎北部+明大寺処理分区：587回/年(対策前)→355回/年(対策後) ・岡崎南部処理分区：463回/年(対策前)→167回/年(対策後) <p style="text-align: center;">計(市全体)：1,050回/年(対策前)→522回/年(目標値)</p> <p>③きょう雑物の削減・・・雨水吐き口からのきょう雑物の流出を極力防止する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに廃止もしくは廃止予定であった4カ所を除く59カ所の吐き口において、きょう雑物対策を実施する。 <p>(2)目標に対する達成状況</p> <p>①汚濁負荷量の削減・・・岡崎北部において計画(1.5Q)以上に当たる3Qを遮集し、 他は計画(3Q)通り遮集した。(H25末:100%達成) [年間放流汚濁負荷量：94.5t/年(目標値<対策後)]</p> <p>②公衆衛生上の安全確保・・・早川遮集管未設部分の建設(岡崎北部)及び占部遮集管改造による 貯留能力の確保(岡崎南部)行うと共に、吐口を4カ所廃止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡崎北部+明大寺処理分区：355回/年(目標値=対策後) ・岡崎南部処理分区：163回/年(目標値<対策後) <p style="text-align: center;">計(市全体)：518回/年(目標値<対策後) (H25末:100%達成)</p> <p>③きょう雑物の削減・・・合流改善対象とした59カ所の雨水吐き室のうち57カ所にきょう雑物対策施設を 設置し、残り2カ所の吐き口を廃止した。(H25末:100%達成)</p>
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	<p>①汚濁負荷量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間放流汚濁負荷量が分流式並みとなり、放流先の水質保全に寄与する。 <p>②公衆衛生上の安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未処理下水放流回数が半減し、未処理下水とともに流出している大腸菌群が半減するため、放流先の公衆衛生向上に寄与する。 <p>③きょう雑物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての吐口にきょう雑物対策を実施することにより、きょう雑物の流出を防ぐことが可能となるため、放流先の景観や健全な水環境保全の維持に寄与する。
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・計画見直しに伴い水量を減少したが、既設遮集管等の合流改善施設の規模は計画に合わせて縮小せず、既設施設を有効活用することで合流改善対策に寄与させる。 また、合流改善計画、これまで二次処理並としていた下水道処理の程度を、高度処理を実施するものとして評価することで、大幅な施設拡大を伴わずに分流並の放流負荷量達成が可能となる。
8. 今後の方針	<p>現状で改善目標は達成できており、平成25年度末に完工した。</p> <p>今後は、老朽対策や浸水対策等を考慮しながら合流区域での水質保全に寄与するよう検討及び実施に努める。</p>

注)Q:岡崎市公共下水道全体計画(汚水計画)における晴天時時間最大汚水量を指す。